

かっぱの通信

2012年10月13日

vol. 95

秋空

まっただなか
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

報告 第17回 北山わんぱく夏まつり



8/5、今年も多くの市民ボランティア、市役所の方々などに支えられ、多数の参加者とともに夏の一日を楽しみました。

北川カヌーは今年も大人気でした。シングル艇5艇での運用でしたが、イベント開始前から乗船を待つ人も多くとても盛況でした。

北川ウォーク（魚とり）では今年も親子でガサガサを行いながら魚を採る微笑ましい姿があちこちで見られました。

北川水族館では北川で採れたオイカワやトウヨシノボリ、ギンブナ、などなどの姿に多くの方が足を止められていました。今年は大きなモクズガニも獲れ（おそらく東京湾から遡上）、さらに見がいのある展示となりました（当日の魚類調査結果は 8/11 付け「かっぱブログ」をご覧ください）。

ザリガニ釣りでは、子どもよりも大人がザリガニ釣りに熱中している姿も多く見られました。

八国山虫とりハイクでは、気温が高かったことから短縮コースとしましたが親子で楽しく昆虫採取を行うことができました。

その他、あずまやの中や木陰では、縄文人による紙芝居とマジック、草笛、カヌーイストによる紙芝居、木工など、プロ級の先生のまわりにどれも多数の参加者があり、親子で楽しい時間を過ごしていました。



こんなに魚がいるんだ！北川水族館



東京湾からやってきたモクズガニ

今年は、カヌーを行うための堰の設置と撤去を市とボランティアとの協働により行いました（昨年までは市が実施）。工事のプロ2名の方の的確な指示により、堰の設置を1時間で、堰の撤去を30分ほどで実施することができました。

以上、夏まつりの簡単な報告でした。今回、あらためて多くの市民ボランティア、市役所担当の方々の支援があってこの夏まつり成り立っていることを痛感しました。ご支援いただきました皆様方、本当にありがとうございました。また、来年も北山公園でお会いしましょう！



八国山虫とりハイク



笑いたつぷり
縄文人の紙芝居



中間報告 「北川ルール案」について

9/1 (土) に開催された北山公園整備計画意見交換会 (注) で、北川かっぱの会から提案した「北川ルール (案)」が議論されました。当日は市 (みどりと環境課、道路維持課)、市民団体、一般市民、狭山公園パークセンターなど約 20 名で意見交換を行いました (北川ルール案は、下記または、9/2 付け「かっぱブログ」を参照)。

主な意見としては、河道内の草刈りについて「具体的にどのように刈るのか (どの部分をどのように残すのか) 市民に示していく必要がある。刈り残しておくところに看板を設置し、なぜ刈り残しているのか、その効果は何なのかなど説明していくのがよいのではないか。」や「ザリガニとり、魚とりなどを通して、子どもたちに地域の自然を体験させていくことが何より大事」、市からは「市民からの提案という形でまとめることができれば、市内での先駆的な事例ということで注目しているところ。北川で「北川ルール」が策定されれば、市内の他の河川にも同様な動きが広がっていくことを期待」などがありました。

その後、9/15 には北川流域の自治会長様向けに「北川ルール (案)」の説明を行いました。今後、さらに各自治会への説明、再度川端会議で意見交換を行うなどして議論を深めていく予定です。

(注；市民、市民団体、市が北山公園等の整備について意見交換を行う場で年 3 回開催される。北川かっぱの会では、当初よりこの会議のことを「川端会議」と呼んでいる)。



北川ルール案の要点

■目標とする北川の姿

- ・在来生物が生息しやすい北川に
- ・ゴミのない美しい北川に
- ・子どもが遊べる川に

■北川ルールの骨子 (行動指針)

- ・ペット、外来魚や外来生物の放流をやめる。
- ・コイやカルガモなどへのエサやりをやめる。
- ・ゴミは持ち帰ろう、拾おう。
- ・生き物のために岸辺の草を残そう。

- ・在来種の採取はほどほどに。

- ・犬の散歩で糞や毛は持ち帰ろう。

■北川の整備の方向性 (市が中心となり実施)

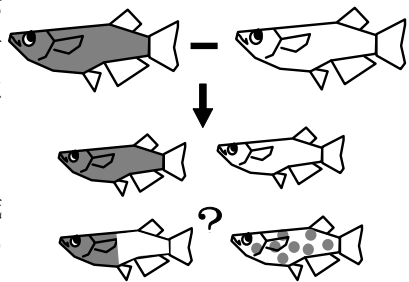
- ・北川の落差工の解消と魚道の設置。
- ・雨水浸透や公共下水道接続の推進などにより北川に清流を取り戻す。
- ・流域の雑木林を保全することで、生き物の生息環境づくりを目指す。
- ・子どもが安全に遊ぶことのできる川づくりを目指す。

メダカいろいろ

今年も北山公園周辺でメダカがたくさん見られているようです。

我家でも、クロメダカ（普通にみる野生のメダカ）を飼っているのですが、先日久しぶりに水替えした時、オレンジ色の小さなヒメダカがいつの間にか1匹混じっていました。ヒメダカは、元々黒いメダカから突然変異で生まれたものを選抜して品種化されたものです。色が違うだけで、生物の“種”としては同じ“メダカ”でクロメダカとの間に子も生まれます。ヒメダカどうしの間にはヒメダカが生まれますが、我家のクロメダカの中にヒメダカの遺伝形質を持った雄雌が混じっていたため、ヒメダカとして生まれてきたのでしょう。

突然変異をもって生まれた生き物は一般的にかよわく、色が違うなどで天敵に発見され易いため、生き残ることが



難しいのですが、ヒメダカは丈夫で養殖もされています。この他、特に絶滅危惧種指定後のメダカブームの中、人為的に作られた色々な色・形の品種が売買されており、遺伝子操作によって作られた光るメダカさえいて高値で取引されています。

何かちょっと怖い話ですよね。（チシマザクラ）

【クイズ】日本で最も多くの名前(方言)を持っていた魚は何？
(答は5ペーシ)

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

10/13、11/10、12/8(土)集合：北山小正門前

秋の北川クリーンアップ

10/21(日)10:00-12:00 北山小西側大関橋付近、精心幼稚園北・将陣場橋、宅部遺跡橋または水道橋集合。河川とその周辺の清掃。ゴム長靴、ゴム手袋など作業ができる服装で。雨天中止。

かっぱウォーク

11/3(土)10:00-12:00 東村山駅改札口集合。八国山と北山公園を歩きます。雨天の場合には当日9時までに「かっぱブログ」に情報を掲示。

かっぱ定例会

11/24(土)15:30-17:30 定例会(茫茫亭) 2月頃までの活動予定について検討します。

なお、北川のオオフサモ駆除日に開催日を変更する可能性があります(かっぱブログに掲載)

他団体主催

西武・狭山丘陵パートナーズ 主催

10/28(日)たまぐりーんウェイWALK
狭山公園パークセンター前 9:00～10:30当日受付、スタート。狭山境緑道、玉川上水緑道を経て昭和記念公園までの約10kmのウォーク

狭山公園わいわいミーティング

12/9(日) 9:30-15:00

八国山たいけんの里自然部会 主催

八国山ガイドウォーク 毎月第1,3土曜 10:00～、13:30～(八国山たいけんの里集合)

10/20、11/3、11/17、12/1、12/15 「八国山・北山公園の生き物観察ガイド」差し上げます。

原風景を守る会 主催

12/2(日)10:00～15:00 多摩湖緑地(雑木林)での作業・意見交換(多摩湖町自治会集会所集合)

予告 北川のオオフサモ駆除作業 11月中下旬頃の土曜日

日時については決定次第、「かっぱブログ」に掲示(現在、市と調整中)。

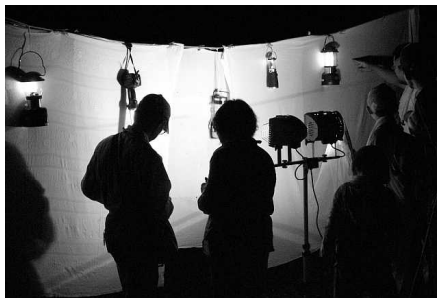
宅部遺跡橋集合。ゴム長靴、ゴム手袋など作業ができる服装で。

多摩湖町内の北川で大繁殖している特定外来生物「オオフサモ」を駆除します。昨年も駆除活動を実施し、この春にはほとんど姿を消したのですが、根が駆除しきれなかったこともあり、夏以降大繁殖しています。このままの状態では在来の植物に悪影響を与えるばかりでなく、水の流れにも悪影響を及ぼしかねない状況です。具体的な日時については現在、市役所と調整中ですが、11月中下旬頃の土曜日となる予定です。今回は市役所内で調整していただいた結果、北川に重機を入れて駆除を行う予定です。重機の作業員の方も含め、全員ボランティアで作業を行う予定です。川で駆除したオオフサモを岸辺に揚げるため、また作業中にオオフサモの断片が下流に流れないようにするため、多数のボランティアを募集します。皆様のご協力をお願いします。

川面をおおうオオフサモ



報告 みどりの楽校 探検講座
八国山ライトトラップ



8/4 (土) 夕方から、東村山市みどりの楽校「探検講座」が開催され、かっぱの会からは会員4人が講座を支援しました。今回の講座には市報等を見て応募のあった小学生とその保護者、23名が参加し、八国山で昆虫採取とライトトラップに集まる虫を観察しました。

前半は、八国山を歩き、昆虫採取を行いました。カナブンが多数集まっている樹木もありましたが、多くの昆虫を採取することはできませんでした。後半はライトトラップという森の中に白いシート状の布を張り、これに明るい光を当て、集まる虫を観察することを行いました。ただ、思ったほど虫が集まりませんでした。

それでも、夜が更けて樹液の出る木に群がるカブトムシやカナブンなどまさに樹液酒場の光景や秘密の樹液ポイントの発見はおもしろかったに違いありません。

【クイズの答え】メダカ(4680個 辛川十歩調べ)
それだけ身近な存在だったのでしょ(北海道は人が移殖)

北山/富士見・南台小土曜講座

報告 北山小 八国山虫とりハイク
7/14 土曜日午前5時集合で八国山虫取りハイクを実施しました。

梅雨の末期ですが、今年もなんとか雨上がりでの開催となりました。

参加したのは子供と保護者、かっぱスタッフで総勢約20人。保護者は今回は全員お父さん。この行事は仕事があっても出勤前に参加できる「お父さん」行事です。実際、お父さんたちは子供に戻って大活躍、カブトムシ、クワガタが多数見つかりました。また、それ以外にも子供の低い目線からセミの羽化の様子が見つかったり、樹液に群がる蝶や蛾、カナブンなどが観察できました。

参加した子供たちは、夏の一日に、虫を探し捕まえるおもしろさや、ふだん目にできない生き物の姿を十分楽しんだと思います。加えて朝焼けや薄暗い森、人通りのない町など非日常的な体験も夏の思い出になったかと思っ
ていま
す。
(遊)



報告 北山小

北川の魚と生き物をのぞいてみよう



9/15 の午前中、小学生 11 人 + 弟妹数名、父母各 3 人、スタッフ 4 人の参加で講座を行いました。

晴れて残

暑がきびしかったのですが、川岸の木々に恵まれる北山公園から北山小前にかけて魚とりを真剣に楽しみました。

川は、水が少なくて歩きやすく、また幸運なことにヨシノボリとエビが沢山いて、小さな子の「おかーさん！ なにかとれた〜」の歓声、父も二の足を踏むような場所も平気で行く子連れのとくましい母、子供にここぞとばかり腕前を披露する父…。

獲物の多くは前述のヨシノボリやエビ、アメリカザリガニでした。オイカワは曲者で、見えていても捕れず、頼るは最後の手段！ 投網を川下に張った総出の追い込み漁？ でしたが、チームワークの乱れもあって魚が上手でさっぱりでした。

捕れた魚は名前を調べ、少し持ち帰り、学校の水槽に入れました。自ら捕る喜びーさわるドキドキを味わってもらえたかな？ (チシマザクラ)

報告 北山小

トンボ採りとヤゴいかだづくり

北山小の最終講座であるトンボ採りを 10/6 に実施しました。

最初にみんなで北山公園でトンボを採集。今の季節、多く見られるのは赤トンボ類、特にアキアカネの姿が多くなります。トンボ採りにはそれなりのコツが必要になりますが、参加した子供たちの虫採りの経験が少ないためでしょう、採集にかなり苦勞していました。2 時間程かけて採集し、みんなでどんなトンボがいたのか調べました。アキアカネの他、同じく赤トンボ類のノシメトンボ・コノシメトンボやシオカラトンボ・アジアイトトンボ等がいました。

その後、北山小のプールにヤゴいかだを浮かべました。トンボには水辺の草に卵を産み付ける種も多いので、かんたんないかだを作ってその上にトンボが産卵できるようにススキ等の草をくくり付けます。小さなヤゴいかだを 4 つ、プールの中央に浮かべました。これで来春もギンヤンマ等のヤゴが見られることでしょう。

(ビー永島)



アキアカネ

おめでとう！ 宇井さん東川賞受賞！

かっぱの会発足当初からの会員、写真家宇井真紀子さん（東村山市在住）が北海道の「写真の町東川賞・特別賞」を受賞した。日本の先住民族アイヌを撮り続けてきた功績によるものだという。

写真集「アイヌときどき日本人」（社会評論社刊 2800 円）をあらためて開いた。アイヌの人たちの表情が実にいい。宇井さんは 20 余年前アシリレラさんと出会ったことでアイヌの世界観を知り、共感し、傍らに生き、撮った。白黒写真の光と影の生み出す迫力に圧倒された。また、説明文も簡潔でいい。章の冒頭の文章は、アイヌの人たちの現在や明治政府の同化政策以来いわれなき差別等過酷な状況に置かれてきたアイヌの歴史を知る入門書ともなっている。ぜひ手に取っていただきたい。

・写真集「アイヌ、風の肖像」新泉社
2800 円+税

「八国山・北山公園の生き物 観察ガイド」 入手方法

「観察ガイド」は八国山たいけんの里主催のガイドウォークで配布しています。（4頁参照）

郵送を希望される場合は、角型6号（23×16cm）以上の封筒（返信先を記入し120円切手を貼付したもの）を同封し、〒189-0026東村山市多摩湖町1-37-16 北川かっぱの会・清水淳あて送付してください。

●編集後記

北山小土曜講座が終わりやれやれです。（遊星歯車）

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

●会費 年間 3000 円

「かっぱ通信」（年 5 回）をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店（普）

3605694〕



加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップー未来の川へー』

北山公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

●発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺